

# 令和7年度事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人

チャイルドファーストジャパン

## 1 事業の目的

特定非営利活動に係る事業については、2015年（平成27年）2月7日に開所した『子どもの権利擁護センターかながわ(CAC かながわ)』で実施する子どもの権利擁護センター事業(CAC 事業)および2024年（令和6年）4月1日に開始した児童精神科・精神科・小児科・婦人科等の診療（クリニック事業）を含め、昨年度までの事業内容を継続した。従って、主たる事業は、電話相談事業、ケースワーク事業、オンブズパーソン活動、研究・研修事業、啓発事業、クリニック事業であった。

啓発事業のうち、1998年から継続して開催してきた「子ども虐待防止シンポジウム」は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)パンデミックの影響で令和2年度は実施できなかったが、令和3年度から再開し、今年度は「第27回子ども虐待防止シンポジウム」を開催した。同じく、COVID-19 パンデミックの影響で「乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業」も令和2年度から令和4年度まで実施できなかったが、令和5年度に再開し、今年度も神奈川県の実業に協力することで、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加に努めた。

昨年度に引き続き、ChildFirst Japan ファカルティによる RIFCR™ 研修を継続した。

Gundersen National Child Protection Training Center (GNCPTC)が、2014年にChildFirst™をChildFirst®として正式に商標登録したことに基づき、ChildFirst Japan も2014年度（平成26年度）にChildFirst™ 司法面接プロトコルをChildFirst® 司法面接プロトコルに改訂し、米国の主催団体もNCPTCからZero Abuse Projectに替わり、2年ごとに改訂が進められている。これに準拠しつつ、今年度もChildFirst® 司法面接研修を継続した。

また、2015年2月7日に『子ども権利擁護センターかながわ』を開所したことに基づき、それまでは社会福祉法人子どもの虐待防止センター（東京）に協力する形で実施していた虐待被害児診察技術研修を2015年度から当法人の実業としても開始し、今年度も継続した。

なお、これら、ChildFirst Japan 研修事業(CF-J 事業)会計は、特定非営利活動に係る事業(CFJ 事業)会計と切り離し、ChildFirst Japan 事業会計(CF-J 事業会計)で管理した。さらに、このCF-J 事業会計を特定非営利活動に係る事業と収益事業とに分け、当法人が会場を準備し、受講者を募集して実施するセンター型 RIFCR™ 研修、センター型 ChildFirst® 司法面接研修、ChildFirst® 拡大司法面接研修、ChildFirst® ピア・レビューアー養成研修およびセンター型虐待被害児診察技術研修を特定非営利活動に係る事業とし、地方自治体等の団体・組織から招聘され、委託事業として実施する出前型 RIFCR™ 研修、出前型 ChildFirst® 司法面接研修、出前型 ChildFirst® 拡大司法面接研修、出前型 ChildFirst® ピア・レビューアー養成研修および出前型虐待被害児診察技術研修を収益事業とした。

また、昨年度、株式会社リコー「リコー社会貢献クラブ・FreeWill」からの助成金が決定的なため、この助成金を元手として今年度は、RIFCR™ 研修ファカルティ（トレーナー・チーム）養成研修を実施した。

これによって、収益事業を一般会計収益事業(CFJ 一般会計収益事業)とChildFirst Japan 事業

会計収益事業（CF-J 事業会計収益事業）の二つに分けて経理した。

また、啓発事業として開催している「子ども虐待防止シンポジウム」（学術集会、パネル・ディスカッション）と児童精神科・精神科・小児科・婦人科等の診療（クリニック事業）はそれぞれ、特別会計で経理した。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ①電話相談事業

(定款第5条(1)① 電話相談事業)

##### ア 『虐待相談かながわ』

- ・内 容 電話相談員養成講座を修了した電話相談員が虐待・ネグレクトをする保護者等からの電話相談を通して、事例のモニタリングとカウンセリングを行い、虐待・ネグレクトの専門家からの相談にも対応して、助言・協力を行った。
- ・日 時 通年、週2回（原則として月・水曜日）午前10時～午後4時
- ・場 所 この法人の事務所内 電話相談室
- ・従事者人員 各回2人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトをする保護者、虐待・ネグレクトに関わる専門家等  
各回0～4人  
電話相談受理件数 28件（新規10件）  
メール相談受理件数 14件（新規1件）
- ・支 出 額 360,849円

##### イ 『虐待相談かながわ』ケース・カンファレンス

- ・内 容 この法人の電話相談員の資質と専門性の向上のための事例検討会の開設
- ・日 時 月2回、原則として第一月曜日 午後3時～6時、第三水曜日 午後6時～8時、ただし、司法面接・系統的全身診察が行われない場合は4時～6時  
令和7年4月16日(水)、6月18日(水)、7月7日(月)、9月1日(月)、10月15日(水)、12月17日(水)、令和8年2月18日(水)、3月18日(水)、計8回
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・講 師 理事長 山田 不二子（スーパーバイザー）
- ・従業者人員 2～3人
- ・対 象 者 この法人の電話相談員6～12人
- ・支 出 額 0円

#### ②子ども虐待・ネグレクトのケースワーク事業

(定款第5条(1)② 子ども虐待・ネグレクトのケースワーク事業)

##### ア ケースワーク事業

- ・内 容 児童相談所・各市町村等が開催する個別ケース検討会議等に、要請に応じて出席し、事例の重症度判定およびケースワーク方針等について助言・協力する事業だが、今年度は実施しなかった。

- ・従事者人員 各回1～3人
- ・対象者 虐待・ネグレクトの専門家で当該事例に関わる人、各回3～10人
- ・支出額 0円

#### イ 子どもの権利擁護センター事業（CAC 事業）

- ・内容 2015年2月7日に、当法人の事務所の1階に開所した『子どもの権利擁護センターかながわ(CAC かながわ)』を子どものためのワン・ストップ・センターとして機能させ、虐待・ネグレクトなどの人権侵害を受けたと疑われる子どもたちや犯罪被害に遭った子どもたち、犯罪を目撃した子どもたち等に対して、多機関連携チーム(MDT: Multidisciplinary Team)の枠組みで司法面接と系統的全身診察を実施した。
- ・日時 令和7年 6月 4日(水)午後  
令和7年 6月18日(水)午後  
令和7年 9月 3日(水)午後  
令和7年 9月24日(水)午後  
令和7年12月 3日(水)午後  
令和7年12月24日(水)午後  
令和8年 1月21日(水)午後  
令和8年 3月 4日(水)午後  
令和8年 3月25日(水)午後
- ・場所 この法人の事務所の1階に設置された『子どもの権利擁護センターかながわ(CAC かながわ)』
- ・従事者人員 各回4～6人
- ・対象者 虐待・ネグレクトの疑われる子ども、原則として1日に1人ずつ計9人
- ・支出額 362,276円

#### ウ 『CAC かながわ』 ケース・カンファレンス

- ・内容 『CAC かながわ』で実施した司法面接の録画ビデオを使ってピア・レビューを実施し、司法面接者の技術向上を目指す事業だが、当法人の司法面接者はすでに高い技能を有しており、司法面接後にスーパーバイザーの山田が司法面接後にフィードバックすることで技術向上を図ることができているため、今年度はピア・レビューを実施しなかった。
- ・日時 随時
- ・場所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従業者人員 4～6人  
このうち、理事長 山田 不二子はスーパーバイザー
- ・対象者 この法人の『子どもの権利擁護センターかながわ』の司法面接者
- ・支出額 0円

#### エ 司法面接者・診察医派遣

- ・内 容 この法人に対して、児童相談所・警察・検察等から司法面接者・虐待被害児診察医の派遣要請があったときに、当法人の ChildFirst Japan ファカルティーを派遣する事業だが、今年度は実施しなかった。
- ・日 時 派遣要請に応じて
- ・場 所 招聘地
- ・派 遣 者 この法人の ChildFirst Japan ファカルティー
- ・従業者人員 1～3人
- ・対 象 者 招聘元が関わっている虐待被害児や犯罪を目撃した児童
- ・支 出 額 0円

### ③子ども虐待・ネグレクトを扱う行政機関に対するオンブズパーソン活動

(定款第5条(1)③ 子ども虐待・ネグレクトを扱う行政機関に対するオンブズパーソン活動)

ア 苦情相談

- ・内 容 電話もしくは事務局窓口にて、行政機関利用者からの虐待・ネグレクトの処遇に関する苦情を受理し、相談に応じ、必要があれば行政への提言を行う事業だが、今年度は対象事案の発生はなかった。
- ・日 時 通年、週2回(月・水曜日)午前10時～午後4時
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 各回2人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトに関して行政機関を利用した者
- ・支 出 額 0円

### ④カウンセリング事業

(定款第5条(1)④ カウンセリング事業)

- ・内 容 カウンセリング事業は、児童精神科・精神科・小児科・婦人科等の診療の中に組み入れて実施した。

### ⑤自助グループ活動

(定款第5条(1)⑤ 自助グループ活動)

- ・内 容 当法人はまだ、自助グループ活動を事業化していない。

### ⑥ー1 研究・研修事業(非営利事業)

(定款第5条(1)⑥ 研究・研修事業)

ア 研修会

- ・内 容 虐待・ネグレクトの専門家を対象とした研修会を開催した。
- ・日 時 第107回：令和7年 5月24日(土)  
第108回：令和7年 9月27日(土)  
第109回：令和7年12月 7日(日)  
第110回：令和8年 3月 1日(日)  
計4回
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室

- 毎回、Zoomによるオンライン参加を併用  
 第109回・第110回はオンデマンド配信も併用
- ・従事者人員 各回約5人
  - ・対象者 子ども虐待・ネグレクトの専門家
- 第107回：会員 17人、非会員 64人、学生 2人、計83人  
 (会場参加 7人、オンライン参加 76人)
- 第108回：会員 11人、非会員 70人、学生 2人、計83人  
 (会場参加 8人、オンライン参加 75人)
- 第109回：会員 18人、非会員 116人、計134人  
 (会場参加 6人、オンライン参加 57人、  
 オンデマンド配信 71人)
- 第110回：会員 20人、非会員 293人、学生 2人、計315人  
 (会場参加 7人、オンライン参加 112人、  
 オンデマンド配信 196人)
- 計 会員 66人、非会員 543人、学生 6人、計615人  
 (会場参加 28人、オンライン参加 320人、オンデマンド配信 267人)
- ・支出額 1,138,309円

#### イ 在宅支援技術研修

- ・内容 「市区町村における性虐待対応」をテーマとして、市区町村職員（児童福祉担当、母子保健担当、障害福祉担当、生活保護担当、DV担当、教育委員会等）、民生児童委員、保育士、学校の教職員など、在宅支援にあたる職種間がお互いの役割や活動を相互に理解し、情報共有と連携協働の方法論を学んだ。
- ・日時 第1回：令和7年 5月25日(日)  
 第2回：令和7年 9月28日(日)  
 第3回：令和7年10月18日(土)  
 第4回：令和7年12月 6日(土)  
 第5回：令和8年 3月 7日(土)
- ・場所 神奈川歯科大学附属横浜クリニック 横浜研修センター 6階 教室
- ・講師 理事長 山田 不二子
- ・従事者人員 各回2人
- ・参加者 19人
- ・支出額 415,256円

#### ウ 電話相談員等ボランティア養成事業

- ・内容 「虐待相談かながわ」の電話相談員等、子ども虐待・ネグレクトの防止活動ボランティアを養成するための講座を実施した。
- ・日時 令和7年7月～10月  
 基礎講座 2時間30分×4回（7月3日(木)、10日(木)、24日(木)、  
 31日(木)）

講師；理事長 山田 不二子

実践講座 3時間×3回（8月6日(水)、20日(水)、27日(水)）

指導者；この法人の電話相談員7人

応用講座 2時間30分×4回（10月2日(木)、16日(木)、23日(木)、  
11月6日(木)）

講師；理事長 山田 不二子

- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 各回1～7人
- ・対 象 者 一般市民の中で電話相談員等子ども虐待防止ボランティア活動を志望する者
- ・参 加 者 基礎講座 4人、実践講座 3人、応用講座 3人
- ・支 出 額 53,531円

#### エ ChildFirst Japan センター型 RIFCR™ 研修

- ・内 容 通告義務者向けの聞き取り研修
- ・日 時 仙台会場（仙台市立病院）  
令和8年3月20日(金)  
横浜会場（ラジオ日本クリエイイト貸会議室）  
令和7年4月26日(土)、6月1日(日)、9月7日(日)、  
11月8日(土)、12月21日(日)、令和8年1月25日(日)、  
令和8年3月8日(日)  
名古屋会場（ウインクあいち）  
令和7年6月21日(土)、9月21日(日)  
三重会場（じばさん三重）  
令和7年7月26日(土)、27日(日)  
大阪会場（エル・おおさか）  
令和7年9月6日(土)、令和8年2月7日(土)  
宮崎会場（宮崎県婦人会館・都城ウェルネス交流プラザ）  
令和7年10月25日(土)、10月26日(日)
- ・場 所 仙台市立病院、ラジオ日本クリエイイト貸会議室 3階 A 会議室、  
ウインクあいち、じばさん三重、エル・おおさか、  
宮崎県婦人会館、都城ウェルネス交流プラザ
- ・講 師 ChildFirst Japan RIFCR™ 研修ファカルティ 各回2～4人
- ・対 象 者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見  
しやすい職種に従事する者、各回定員40人、  
令和7年 4月26日(土)：38人（横浜）  
令和7年 6月 1日(日)：36人（横浜）  
令和7年 6月21日(土)：39人（名古屋）  
令和7年 7月26日(土)：39人（三重）  
令和7年 7月27日(日)：39人（三重）  
令和7年 9月 6日(土)：39人（大阪）  
令和7年 9月 7日(日)：40人（横浜）

令和7年 9月21日(日) : 37人 (名古屋)  
令和7年10月25日(土) : 40人 (宮崎県宮崎)  
令和7年10月26日(日) : 31人 (宮崎県都城)  
令和7年11月 8日(土) : 38人 (横浜)  
令和7年12月21日(日) : 39人 (横浜)  
令和8年 1月25日(日) : 40人 (横浜)  
令和8年 2月 7日(土) : 38人 (大阪)  
令和8年 3月 8日(日) : 38人 (横浜)  
令和8年 3月20日(土) : 37人 (仙台)  
計16回、608人

- ・従業者人員 15～20人 (このうち、15人は ChildFirst Japan RIFCR ファカルティ)
- ・支出額 5,839,506円

#### オ ChildFirst Japan センター型 ChildFirst® 司法面接研修

- ・内 容 多機関連携チーム(MDT)の枠組みで実施する司法面接(調査・捜査のための聞き取り)の研修。GNCPTC (Gundersen National Child Protection Training Center)が開発し、現在は Zero Abuse Project が運営する ChildFirst® 司法面接プロトコルを研修した。
- ・日 時 第1回: 令和7年 7月17日(木)～21日(月・祝)  
第2回: 令和7年 9月11日(木)～15日(月・祝)  
第3回: 令和7年10月30日(木)～11月3日(月・祝)  
第4回: 令和8年 2月19日(木)～23日(月・祝)
- ・場 所 神奈川工科大学 IT エクステンションセンター、子どもの権利擁護センター  
かながわ 2階 研修室および1階 司法面接室・観察室
- ・講 師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティ (子どもの司法面接 Zero Abuse Project 認定トレーナー) 8人
- ・対 象 者 全国の児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・看護師等医療職などの多職種専門家、  
第1回: 19人  
第2回: 20人  
第3回: 20人  
第4回: 20人  
計79人
- ・従業者人員 9～11人 (このうち、9人は ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティ)
- ・支出額 5,905,138円

#### カ ChildFirst Japan センター型 ChildFirst® 拡大司法面接研修

- ・内 容 『拡大司法面接』とは、1回の司法面接を複数のセッションに分けて実施することを指す。1セッションで実施する伝統的司法面接では、マルトリートメント被害の詳細を聞ききれなかったような場合、あるいは、被害がたくさんあって、1回のセッションでは聞ききれないため、複数のセッションに分

ける必要が生じる場合などに実施される。拡大司法面接を実施する際に配慮しなければならない正しい知識と適切な実施方法について、3日間(1日あたり原則、午前9時～午後6時)かけて研修した。

- ・日 時 第1回：令和7年9月21日(日)～23日(火・祝)  
第2回：令和8年1月10日(土)～12日(月・祝)
- ・場 所 ラジオ日本クリエイティブ貸会議室 3階 B会議室
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・対 象 者 ChildFirst® 司法面接研修、ChildFirst™ 司法面接研修、RATAC® 司法面接研修の修了者  
第1回：13人  
第2回：23人  
計36人
- ・従業者人員 3～5人(このうち、1人は理事長 山田 不二子)
- ・支 出 額 1,247,547円

#### キ ChildFirst Japan センター型 ChildFirst® ピア・レビューアー養成研修

- ・内 容 司法面接に関するピア・レビューアーの育成をする2日間研修
- ・日 時 第1回：令和7年5月17日(土)～18日(日)  
第2回：令和8年2月14日(土)～15日(日)
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・講 師 理事長 山田 不二子他 CF-J 司法面接ファカルティ
- ・対 象 者 ChildFirst® 司法面接研修、ChildFirst™ 司法面接研修、RATAC® 司法面接研修の修了者  
第1回：6人  
第2回：8人  
計14人
- ・従業者人員 3～5人(このうち、1人は理事長 山田 不二子)
- ・支 出 額 354,576円

#### ク センター型虐待被害児診察技術研修

- ・内 容 多機関連携チーム(MDT)を構成する医療者、児童相談所職員、警察官、検察官や将来、子どもの権利擁護センター(CAC)の職員として活動する可能性のある職専門職を対象として、MDTのあり方を研修するとともに、虐待被害児の病態理解と診察技術の習得を目指す。  
なお、講義の都合上、昨年度より2日型研修のみとしている。
- ・日 時 第1回：令和7年 6月 7日(土)～ 8日(日)  
第2回：令和7年10月25日(土)～26日(日)  
第3回：令和7年11月29日(土)～30日(日)  
第4回：令和8年 1月24日(土)～25日(日)  
第5回：令和8年 3月14日(土)～15日(日)  
計5回

- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階 診察室
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・対 象 者 前半講義のみ参加；子ども虐待に関わる全ての専門職種、各回定員12人  
前半講義及び後半講義と実技参加；医師、助産師、看護師等医療者および  
MDT コア・メンバーとなる職種（児童福祉司、警察官、検察官、CAC 職員）、  
第1回：11人  
第2回：13人  
第3回：12人  
第4回：14人  
第5回： 9人  
計59人
- ・従業者人員 3～5人（このうち、1人は理事長 山田 不二子）
- ・支 出 額 921,752円

#### ケ RIFCR™ 研修ファカルティ（トレーナー・チーム）養成研修

- ・内 容 リコー社会貢献クラブ・FreeWill 助成金を元手として、RIFCR™ 研修ファカルティ（トレーナー・チーム）を養成した。その際、ファカルティ養成講師である当法人理事長の立ち会いの下、ファカルティ候補者に RIFCR™ 研修を実践してもらい、1日目は研修内容を、2日目は研修スタイルをフィードバックして講師を認定した。なお、RIFCR™ 研修の受講料は通常、9,900円（消費税込み）だが、ファカルティ候補者による RIFCR™ 研修の受講料は受講者1人につき4,400円（消費税込み）とした。
- ・日 時 ファカルティ候補者受講・オブザーバー参加：令和7年6月1日（日）  
福岡チーム：令和7年6月21日（土）・22日（日）  
尼崎チーム：令和7年9月 5日（金）・ 6日（土）  
函館チーム：令和7年9月29日（月）・30日（火）
- ・場 所 ラジオ日本クリエイティブ貸会議室 3階 A会議室、福岡県福岡児童相談所、兵庫県立尼崎総合医療センター、函館中央病院
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・対 象 者 発達心理学の専門家：小児科医もしくは公認心理師等  
法律もしくは児童福祉制度の専門家：弁護士もしくは児童福祉司等  
RIFCR™ プロトコルの講義担当者：医療系・福祉系・心理系の有資格者  
各チーム3人構成、計9人
- ・従業者人数 3～5人（このうち、1人は理事長 山田 不二子）
- ・支 出 額 755,105円

#### ⑥-2 研究・研修事業（収益事業）

（定款第5条（1）⑥ 研究・研修事業）

##### ア ChildFirst Japan 出前型 RIFCR™ 研修

- ・内 容 通告義務者向けの聞き取り研修を招聘元に出向して実施する。
- ・日 時 令和7年 6月14日（土）・15日（日）：函館中央病院（北海道函館市）

令和7年 6月19日(木)～20日(金)：法テラス（東京都中野区）  
 令和7年 6月25日(水)：自治医科大学病院（栃木県宇都宮市）  
 令和7年 6月27日(月)：港区児童相談所（東京都港区）  
 令和7年 7月 5日(土)：ふくおか子ども虐待防止センター（福岡県福岡市）  
 令和7年 7月11日(金)：横浜市中央児童相談所（神奈川県横浜市）  
 令和7年 8月 8日(金)：京都府家庭支援総合センター（京都府京都市）  
 令和7年 8月25日(月)：千葉市教育委員会（千葉県千葉市）  
 令和7年10月19日(金)：個人（静岡県三島市）  
 令和7年11月 9日(月)：前橋赤十字病院（群馬県前橋市）  
 令和7年11月21日(金)・22日(土)：日本福祉大学（愛知県名古屋）  
 令和7年12月21日(土)：前橋赤十字病院（群馬県高崎市）  
 令和8年 1月10日(土)：聖ルチア病院（福岡県久留米市）  
 令和8年 1月23日(金)：社会福祉法人ホザナ園（埼玉県さいたま市）  
 令和8年 1月24日(土)・25日：延岡市こども保育課（宮崎県延岡市）  
 令和8年 2月19日(木)：兵庫県立尼崎総合医療センター（兵庫県尼崎市）  
 令和8年 3月15日(日)：松江赤十字病院（山口県松江市）  
 令和8年 3月20日(金)：個人（北海道旭川市）

・講師  
 ・対象者

ChildFirst Japan RIFCR™ 研修ファカルティ 各回3～4人

小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見しやすい職種に従事する者、

令和7年 6月14日(土)：40人  
 令和7年 6月15日(日)：38人  
 令和7年 6月19日(木)～20日(金)：38人  
 令和7年 6月25日(水)：40人  
 令和7年 6月27日(月)：36人  
 令和7年 7月 5日(土)：40人  
 令和7年 7月11日(金)：39人  
 令和7年 8月 8日(金)：40人  
 令和7年 8月25日(月)：38人  
 令和7年10月19日(金)：37人  
 令和7年11月 9日(月)：27人  
 令和7年11月21日(金)：39人  
 令和7年11月22日(土)：40人  
 令和7年12月21日(土)：40人  
 令和8年 1月10日(土)：36人  
 令和8年 1月23日(金)：31人  
 令和8年 1月24日(土)：39人  
 令和8年 1月25日(日)：40人  
 令和8年 2月19日(木)：39人  
 令和8年 3月15日(日)：32人

令和8年 3月20日(金) : 40人

計21回、789人

- ・従業者人員 6～7人 (このうち、3～4人は RIFCR™ 研修ファカルティイー)
- ・支出額 5,896,592円

#### イ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst® 司法面接研修

- ・内 容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、GNCPTC (Gundersen National Child Protection Training Center)が開発し、現在は Zero Abuse Project が運営する ChildFirst® 司法面接プロトコルを多機関連携チーム (MDT : Multidisciplinary Team) で構成された受講者に研修し、MDT の枠組みで司法面接を実施する体制を各地に構築することを目指した。
- ・日 時 令和7年12月10日(水)～14日(日) : 京都府警察 (京都府京都市)
- ・場 所 京都府警察本部少年サポートセンター、京都府家庭支援総合センター
- ・講 師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティイー (子どもの司法面接 NCPTC 認定トレーナー) 7人
- ・対 象 者 各県・政令市で活動する児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・看護師等医療職などの多職種専門家、20人
- ・従業者人員 8～10人 (このうち、7人は ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティイー)
- ・支出額 1,248,530円

#### ウ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst® 拡大司法面接研修

- ・内 容 拡大司法面接を実施する際に配慮しなければならない正しい知識と適切な実施方法について、自治体等の団体・組織からの招聘に基づいて、3日間(1日あたり原則、午前9時～午後6時)かけて研修する事業だが、今年度は招聘がなかった。
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・対 象 者 ChildFirst® 司法面接研修、ChildFirst™ 司法面接研修、RATAC® 司法面接研修の修了者
- ・従業者人員 3～5人 (このうち、1人は理事長 山田 不二子)
- ・支出額 0円

#### エ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst® ピア・レビューアー養成研修

- ・内 容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、司法面接ピア・レビューアーを養成する研修を2日間かけて実施する事業だが、今年度は招聘がなかった。
- ・講 師 理事長 山田 不二子他CF-J司法面接ファカルティイー
- ・対 象 者 ChildFirst® 司法面接研修、ChildFirst™ 司法面接研修、RATAC® 司法面接研修の修了者
- ・従業者人員 3～5人 (このうち、1人は理事長 山田 不二子)
- ・支出額 0円

#### オ 出前型虐待被害児診察技術研修

- ・内 容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、多機関連携チーム(MDT)を構成する医療者、児童相談所職員、警察官、検察官、子どもの権利擁護センター(CAC)職員等を対象として、MDT のあり方を研修するとともに、虐待被害児の病態理解と診察技術の習得を目指す。
- ・日 時 令和7年7月13日(日)：港区児童相談所（東京都港区）  
令和7年8月30日(土)：横浜中央児童相談所（神奈川県横浜市）  
令和8年2月28日(土)：聖マリアンナ医科大学病院（神奈川県川崎市）
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・従業者人員 1～3人
- ・対 象 者 招聘元が招集した参加者  
令和7年7月13日(日)：13人  
令和7年8月30日(土)：26人  
令和8年2月28日(土)：12人  
計51人
- ・従業者人員 3～5人（このうち、1人は理事長 山田 不二子）
- ・支 出 額 371,066円

#### カ 専門家派遣事業 講演会・講義等に対する講師派遣

- ・内 容 この法人に対して、他団体から講演会・講義等の講師の招聘があったときに、当法人の役員や正会員を派遣する事業だが、今年度は招聘がなかった。
- ・講 師 山田 不二子
- ・従業者人員 1～3人
- ・支 出 額 0円

#### ⑦啓発・出版事業

(定款第5条(1)⑦ 啓発・出版事業)

##### ア 学術集会

- ・内 容 第27回子ども虐待防止シンポジウム  
テーマを『チャイルド・デス・レビュー(CDR)と子どもの権利擁護センター(CAC)のあるべき姿』とし、アイルランドで CDR の制度化に関わり、スコットランドで Bairns' Hoose (ヨーロッパ型 CAC である Barnahus の一つ)の創設に尽力された Prof. John Devaney を招聘して、日本の CDR や CAC を国際的視点から検証する。  
経理は「令和7年度子ども虐待防止シンポジウム事業特別会計」で管理する。
- ・日 時 令和8年1月17日(土)
- ・場 所 ラジオ日本クリエイティブ貸会議室 3階 A・B 会議室 (ウェブ配信併用)
- ・従事者人員 12～15名
- ・対 象 者 児童福祉・母子保健・医療・教育等の関係者  
参加者：会員 15人、非会員 51人  
(会場参加 25人、オンライン参加 21人、オンデマンド配信 20人)

- ・海外招聘講師 Prof. John Devaney (エジンバラ大学 社会福祉学部長)
- ・日本人講師 本山 景一、沼口 敦、田上 幸治、理事長 山田 不二子
- ・従事者人員 1～3名

#### イ パネル・ディスカッション

- ・内 容 学術集会で紹介したアイルランドの CDR やスコットランドの CAC に鑑みつつ、日本における多機関連携チーム(MDT)のあり方についてディスカッションする。
- ・日 時 令和8年1月18日(日)
- ・場 所 ラジオ日本クリエイティブ会議室(ウェブ配信併用)
- ・従事者人員 12～15名
- ・対 象 者 児童福祉・母子保健・医療・教育等の関係者  
参加者：会員 15人、非会員 51人  
(会場参加 25人、オンライン参加 21人、オンデマンド配信 20人)
- ・海外招聘講師 Prof. John Devaney (エジンバラ大学 社会福祉学部長)
- ・日本人講師 本山 景一、沼口 敦、田上 幸治、理事長 山田 不二子
- ・従事者人員 1～3名
- ・支 出 額 3,532,339円(学術集会とパネル・ディスカッションの合算)

#### ウ 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業

- ・内 容 神奈川県と伊勢原市が米国のプログラムを元に共同開発した乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育プログラムや各医療機関が独自に開発した SBS 予防教育プログラム等を神奈川県内の医療機関に広める神奈川県の事業に協力することで、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加を図った。
- ・日 時 令和7年5月12日(月)・6月16日(月)
- ・場 所 神奈川県厚木保健福祉事務所 大和支所
- ・従業者人員 4～6人
- ・対 象 者 指導者研修：各病院産科病棟・新生児室の看護師・助産師等
- ・支 出 額 0円

#### エ ニューズレターの発行

- ・内 容 ニューズレターを発行する計画だった、今年度は実施しなかった。
- ・日 時 年1回、令和7年9月頃(各回300部)
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 6～10人
- ・対 象 者 この法人の会員等、約300人
- ・支 出 額 0円

#### オ インターネット・ホームページの開設

- ・内 容 インターネット・ホームページを2002年4月に開設し、今年度も継続した。

- ・日 時 通年
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 1人
- ・支 出 額 26,400円（管理費より支出）

カ 一般社団法人日本子ども虐待防止学会第31回学術集会ほっかいどう大会 パネル展示

- ・内 容 一般社団法人日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)第31回学術集会ほっかいどう大会に参加し、啓発活動の一環として当法人活動を紹介するパネルを展示した。
- ・日 時 令和7年11月15日(土)・16日(日)
- ・場 所 札幌コンベンションセンター
- ・従業者人員 3～5人
- ・対 象 者 JaSPCAN 第30回学術集会かがわ大会の参加者
- ・支 出 額 2,079円（管理費より支出）

#### ⑧児童精神科・精神科・小児科・婦人科等の診察

(定款第5条(1)⑧ 児童精神科・精神科・小児科・婦人科等の診療)

ア 子どものこころとからだのクリニック事業

- ・内 容 『子どものこころとからだのクリニック CAC かながわ』（旧『子どもの権利擁護センターかながわ内診察室』）において、これまで系統的全身診察として実施してきた小児科・婦人科診療に加え、2024年（令和6年）4月1日に開始した児童精神科・精神科診療を今年度も継続した。ただし、昨年度は保険診療のみで提供していた診療を、今年度からは選定療養費を併用して混合診療とした。  
なお、一昨年度まで特定非営利活動に係る事業としていた系統的全身診察（小児科・婦人科診療）は、昨年度より収益事業とし、今年度も継続した。
- ・日 時 毎週月曜日午前・午後、水曜日午後、木曜日午前・午後、金曜日午前・午後  
診療時間：午前10時～午後1時、午後3時～午後7時  
（ただし、水曜日のみ午後1時30分～午後7時）
- ・場 所 この法人の事務所の1階に設置された『子どものこころとからだのクリニック CAC かながわ』
- ・従事者人員 各回4～6人
- ・対 象 者 診療が必要な子どもたちとその保護者・里親等養育者
- ・支 出 額 22,988,638円

#### ⑨その他目的を達成するために必要な事業

(定款第5条(1)⑨ その他目的を達成するために必要な事業)

ア アナトミカル・ドール販売事業

- ・内 容 国際的に定評のある Teach-a-Bodies 社製アナトミカル・ドールの仲介販売を行う。
- ・日 時 随時

- ・場 所 当法人の事務所
- ・従業者人員 2～4人
- ・対 象 者 横浜市児童相談所、さいたま市児童相談所
- ・支 出 額 120,189円

(2) その他の事業

①チャリティー事業

(定款第5条(2)①チャリティー事業)

ア チャリティー・パーティー

- ・内 容 この法人の正会員・賛助会員の親睦および特定非営利活動に係る事業の不足分資金の調達のために会費制のチャリティー・パーティー(会食会)を行う事業だが、今年度は実施しなかった。
- ・従業者人員 5～8人
- ・対 象 者 この法人の会員 約30人
- ・支 出 額 0円